



旬の風 199号 (2018年11月)

私が旬に入ってあと数ヶ月で20年になりますが、気が付けばメンバーの中で4番目の年長者になっていたのです。旬では同じメニューでも調理法や作業手順が工夫されて日々進化していくので、皆で確認しながら作業します。お互いに持っている力と知恵を出し合って作り上げていく旬という職場に出会えた事を幸運だと思っています。

そして、もう一つの幸運は通勤の通り道に別所沼公園があることです。

別所沼会館の脇から入って見上げると、左右の樹々から伸びた枝が上の方で重なり合って高い天井を作っている。その隙間から空が垣間見える。思わず深呼吸をする。とっても気持ちがいい。雨の日でも見上げてしまう。

沼の方へ出る道に大雨の後、池のようになる所がある。長靴でそろそろ歩く。ちょっとスリル。台風の後、銀杏の実が大量に落ちていて拾って帰り、蒸したおこわに入れて美味しくいただいた。ラッキー！

日中は不思議な音色の打楽器演奏に耳を傾け、夜は運が良ければスラックライン(2本の幹にベルト状のラインを渡してその上を歩いたり、ジャンプする競技)の練習に出合えたり。

夏は緑陰で一息つき、秋は鈴虫の元気な羽音を聴き、初冬は霜柱の丈をはかる。

梅が花開くや、一本の河津桜が春を告げる。マンション住まいで周りがアスファルトばかりの私にとって、樹と土に触れられる別所沼公園はオアシスだ。

皆様、3月、旬のお弁当持参でお花見をされてはいかがでしょうか！

(がっきー)

メニュー担当者からの一言

今年の夏の暑さが嘘だったかのように、過ごしやすくなってきた今日この頃。お鍋も恋しくなる季節になってきましたね。

「旬」のお弁当にお鍋というのは、ちょっと無理な話なのですが、冷めても美味しいお弁当をお届け出来るよう努力します！！

今月も、茸や根菜、青菜が登場します。

煮物やサラダ、おひたし、和え物・・・いろいろなメニューでお楽しみ下さい！

体調も崩しやすい季節です。美味しいお料理(お弁当?)を食べて元気に頑張りましょう。